(-)

國民會議開會式

(上)は開會式における蔣介石氏の脱辭期證、

電気が一点を表現であるが一点を表現であるが一点であるが一点である。 「東京特麗十一日餐」を表現を表現である。 「東京特麗十一日餐」を表現を表現である。 「東京特麗十一日餐」を表現を表現である。 「東京特麗十一日餐」を表現を表現である。 「東京特麗十一日餐」を表現を表現である。 「東京特麗十一日餐」を表現を表現である。 「東京特麗十一日餐」を表現である。 「東京特麗十一日である。 「東京特別である。 「東京教育である。 「東京特別である。 「東京教育である。 「東京特別である。 「東京特別でなる。 「東京特別でなる。 「東京特別でなる。 「東京特別でなる。 「東京特別でなる。 「東京特別でなる。

を 事に極めて慎重なれば妖骸くは急、道々 事に極めて慎重なれば妖骸くしたか、ることは 中 際兄士機監追出しにか、ることは 中 際兄士機監追出しにか、ることは 中 際兄士機監追出しにか、ることは 上 を 事に極めて慎重なれば妖骸くは急 かっちょうし かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょう しゅう かっちょうしゅう かっちょうしゅう かっちょう しゅう かっちょう かっちゅう かっちょう しゅう かっちょう かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっち かっちょう かっちょう かっち かっち かっちょう かっちょう かっち かっちょう

意を以て奥

大きれ勢力である交職派(勢職級)の脱退後内部の職権を撤けて來た【東京"電十一日盤】た第交堂の「衛家職」と)は空梯だい子女史一派

左翼文壇指導權はナップ**に**

南京特電十一日發 夏斗寅、陳

良氏を試職してゐるが張氏が北方

て耐伐せらめる方針である

李宗仁氏の

の長官に軍職を強要する

能も地方

張氏や近~忠告通電

銀を受取って来るも

日

見の野京旅客は神度に歌

悪化した結合的意

果細田源吉氏等は最近交戦脱退の

意志た隣の十一日交戦本部におけ

鐵昭和五年度決算につき説明す

さるあった

罕校

事さなつたがこの動揺の参覧に 動行委 事さなつたがこの動揺の参覧に

覧 藤雪夫氏も脱患の胎を極めた 記一派さは別行動・脱退し執行委

廣東の

が政治討論會席上

の動揺の影響から

細田氏等脱退し

叉戰派潰滅

祭 木 飾 人 行 盤 二 加 口 山 人 倒 料 配 太 庄 下山 人 刷 印 电谱-用可同全值市遇大 性器日 列酶 航 音 女 医 所名

的代時も最

3 赤原守 味美

七〇九九電早浬洋見

汪兆銘

0

民主義を機関することは彼は無取りもしないとくやうなこともしないとくやうなこともしないとくからなずその思想上の立と

はかりでなく、民都財職を中心 後はたゞに青年支那で野立する 後はたゞに青年支那で野立する

を用ひず政治館に解決するに決し「像深い張騰氏吳鐵城氏を派遣し歌」氏は今遇中に鮮京廣東に向ふ管告を隠取した結果魔東問題は武力「古懸さ、鄧澤城剛氏等さ僧人能體「得に懲らしむる事さなつた張昊兩

らばれな

全休高

減俸率は五分から 百萬圓ん 俸を斷 多 £ 割

であるこころであって、彼はそ

間に低してこれなりイドする地もたなくて能膨脹山や脚玉麻の

な新の政界においての彼の地位 な那の政界においての彼の地位 は動かすこさができないであら

ってはきた。けれごも勝分なは

は國民政府の二大柱石

氏の二人

になるさ、われくは次のやうない。 になるさ、われくは次のでは、 になるさ、われくは次のに、 三民主義能線融の がは、 共産能ウルトラの 立ながける、 共産能ウルトラの 立ながける、 共産能ウルトラの 立場は別である。 國民黨的新支那の 立場は別である。 国民黨的新支那の かがける、 共産能の かいました。 アルギャ

で飛騰北方政府なるものができ で飛騰北方政府なるものができ で飛騰北方政府なるものができ で飛騰北方政府なるものができ

今度の廣東政府で彼さの關係

また廣東

のために再び機會を與へるであれ。とつてゐる人氣で地位され、彼いもつてゐる人氣で地位され、彼い

ながないるという。 一般では、かるでは、ないでは、 一般では、ないでは、 一般では、ないでは、 一般では、ないでは、 一般では、ないでは、 一般では、ないでは、 一般では、 一般では、 でいると、 ができます。 でいると、 でい

な人を缺いてゐるかさいふの點

その人を缺いてゐることはもち支那の今日の紛亂は政治家に

M - 割二分の成率を断行せんさするものでありその方法さしては緊衝率を現て上級者整理調査會に提出する事さなつた、その大勢は戦低、繋低、繋低、射低谷官の機総に禁し 五分乃の大綱た決定したので江木戦機、心臓書記官長の手能において原案を作成、近く新設せらるべき行政、東京特電十一日襲』行政整理準備委員會は愈々官吏の滅機賦行すべく去る九日の委員會においてそ 對しては最高率を課し俸給總額において約千五百萬圓の節約を為さ一割二分の減俸を斷行せんごするものでありそのが思さしては緊衝勢を現て上級者 以下は九分から五分までの率にて滅極する機械である、なほ人最大理し続行する事さなり既に内するものであつて大陸から見て月線二百圓以上のものは一都二分、百圓から二百圓までは一割、

た際に思想版に一般の脱淡紙のナ た際に思想版に一般を対象 あるなはナップに移って了った課で あるなはナップに移って了った課で あるなはナップに移って了った課で あるなはナップは近く中央委員會

ない地位なぶら

活者についての私の形態はひ ざくよい。私にさいてはこゝに ざくよい。私にさいてはこゝに

彼の不癒さ、また無能の結果だ今日の時局の粉籠も、要するにアルクほごの癒望もなく、支那

もウエリントンや

現實の要求に禁して一方向を乗額者でもあるが、今日の支那師師殿民黨が孫文の正統相

さしての彼の動かすこさのでき位をもつてゐたこさは、政治家

層像について調査を開始した 司法官が 極力反對

師團編制具體条

ツブ加入な決定する事ごなつた

在外國民保護に止まる

リカの海

軍々縮の目的

軍制調査會で成案中

植民地一行政整 6 して配る成行を重視して歌いて歌いてのる。公は、

貴族院公正會でも反對

力針及び實行方法調査 多数の反照意見開院の複数に在る 瀬區部駅で共に本間駅に対し會内

一・一部の師則は大體現在の編制 國際融和に貢献

『ワシントン九日費』國際商業會議所第六回總回の成果につ 會に成功であつたこいへやう
育的價値は極めて大であるさ信する、この意味で今度の大きは疑はといが、しかと無形の國際融和への貢献、就中教工の種の會議の常さして直接の具體的効果を直に見出すこの種の會議の常さして直接の具體的効果を直に見出すことの極く認った。 國際會議所總會の成果 各務日本代表語る

大和田理事館、上島城等に野る満滅竹中經理部次長は十一日午前清滅竹中經理部次長は十一日午前

竹中經理次長

けふ關東廳訪問

東京十一日景』三長官會議の結

本機本原則でして師願内部の総か
を概本原則でして師願内部の総か
を概本原則でして師願内部の総か
の二方法を具體案の情子でするし
を概本原則でして師願内部の総か
の二方法を具體案の情子でするし
を概本原則でして師願内部の総か
の二方法を具體案の情子でするし
を概本原則でして所願内部の総か
の二方法を具體案の情子でするし
を概本原則でして所願内部の総か
の二方法を具體案の情子でするし
を概本原則でして所願内部の総か
の二方法を具體案の情子でするし

の二方法を具然表の作子さするも の、娘くである、右により平時戦 感が今後平、戦雨時共に大小の差 を関か今後平、戦雨時共に大小の差

り決して戦何取立のために兵力を用いんさするやうな意志は有してたらねのである『高真ななとこまなか」として戦何取立のために兵力を用いんさするやうな意志は有してたらねのである『高真ななとこと またどもこれは国際法の規定に従って在外國民 を保護せんとするにといまれどもこれは国際法の規定に従って在外國民 を保護せんとするにといて早くも終熄を見またロンドン軍縮倉議の如きもこの精神に対して、大口の大力を用いんさするやうな意志は有してたらねのである『高真ななとこ』を持つたる。 まずにときたの如っ放送演説を得つた 米國務長官スチムソン氏放送 ケロッグ不暇條約は世かの國々に偉大なる効果を及ぼして後八時中驚地に然て國一政策につき左の娘に燃送消費を行つ【ワシントン九日餐】アメリカ國務長官スチムソン氏は九日

師け廣東車の指揮下に 軍費難の山西軍 ここは決定し 問題は其後會師にて決定すべしこ 氏全國に此一通電し汪標衛氏機関な黙明さに決定し一間とは其後會嗣にて決定す

前、保局長機山助成氏はかれてより兵發して水滿中の溶刺線會長水 り兵發して水滿中の溶刺線會長水 に同径の等であつたが像定より選 に同径の等であつたが像定より選 れ十一日入港香港鬼で水連した艦 中談る

山

間景 梨 がたったらしい、

連絡會議に出席

本格島総氏(諸被農務課長) 奉天 「大面出張中の處十一日解任 大面出張中の處十一日解任 「日入港の香港丸にて來連 「日入港の香港丸にて來連 「日大港の香港丸にて來連 「日大港の香港丸にて來連 「日大港の香港丸にて來連 「日大港の香港丸にて來連 「日大港の香港丸にて來連

駐屯地方で徴發 四州平に撃つ が盛に行はれてゐる。そにへ覆東 工職震、徐禄 問題の軸報をうけたこと、て豫瞅 「武職」とは、一次に解してゐる各軍隊のゴター(は 兵職には、一次で道の敵に難したさい。 を飛ぶしたさ、 な水部には、一次で道の敵に難した。 な水部には、一次で道の敵になってが多い。 な水部には、一次では、一次で道の敵になってが多い。 な水部になって道の敵になってが多い。 な水部になってが多いでは、 な水部になってが多いでは、 な水部になって、 な水部になって、 な水部になって、 な水部になって、 な水部になって、 な水部になって、 ないたでうで道の敵になって、 ないたでうで道の敵になって、 ないたでうで道の敵になって、 ないた。 ないたできばした。 ないたできばした。 ないたできばした。 ないたできばした。 ないたが、 ないたできばした。 ないたできばした。 ないたが、 ないたできばした。 ないたが、 ないが、 な 縣長等太原に逃込む 考へてゐ が好いちやないか、大連には 自分は港灣協會さは全然関係は で行つた方が色々な意味で都合 で行つた方が色々な意味で都合 時代だつたよ、十二日の晩水一

中央土地拂下地

解約と善後處置

保證金十二萬圓を沒收し

既納の六十四萬圓を返戻

國民會議 けるの議題

を果さなか

張繼氏ら

孫殿氏地

連名で反映張通電を發

氏から魔鬼心塾に関する詳細な報

兒玉總監進退問

當分は急轉する

統治上面白か

大天狗だ、長春でも是非引張り軽大天狗だ、長春でも是非引張りの機能秘書を指して「君、 かまではいると、 本村交際部長を公 本村交際部長を公 一明日はゴルフで ◇…結蹊秘書、これにまけないでかられ」

めまうしない

見るさきのその愉快さッたらしな明寄せて鴨緑沢町にヤニ下るな明寄せて鴨緑沢町にヤニ下る 0 持参、何れも

飲飲強盗や、煙突男を同

◆…「ナニ吉林電転なら八十萬吊か、長春、吉林では仕方ないか

に合せてやら 一度そんな目

其神持巻、息子の秘書は鏡破御◆…値上親爺の部長はゴルフの道ないかね」

◆…部長「君・一度朝鮮美人な見 よりは確然であって耐る愉快でよ鳥がなって果れない銀砲打ち

問艦」ミニふのが出 こ軍権質論もまた植様替へさなる 荷くし軍艦だる袖珍はチト 知恵ではこんど「袖珍野 知恵ではこんど「袖珍野 小袈裟過ぎるが、若

電談 大連中央土地會社は膨くその支店。ある、だも脳下地、解約して野球で、る荷標で徹極が出たが要型人ことになったの関東臓において能色の上院は大連を保護・18 大連中央土地會社は膨くその支店。ある、だも脳下地、解約して野球で関係土地の一般ではあるけ、大連の一般では、大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連を保護・18 (大連・18 (大車・18 マ親節の奉天行狀記をスツ 機原が生きてるたら泣くだらう。 職者でも同じ人間だ。 筆談には違い 1年の窓線がある、司法官でも勢 ひない。 大人さんばかり、佐々木 郷で行生陣筆ひ、それ のいまり東京へ、東京より

起さず。連用して障害なく病の根本を治癒す。特徴…使用時、嘔氣を催さずその他不快の感を

吸入すれば即座に痰を切り苦痛を去る 注射せば 直ぐ發作は消失し 平常に復す



蛇角



滿鐵技術會議 必要なかり 食慾增進素(各国專賣特許) 店房下日本橋岩 **白井松 新藥部**

植民地の行政は

内地式ぢや駄目

大連には五年ぶりで來た

横山前警\| 局長談

満鐵の新定員制は 十四日重役會議で決定 過剰人員は淘汰せぬ シガ





業界に 資ゆ るも 9

派遣選手候補者に

アームを異へたのみで

派遣を

養表であに至つ

三日間海南に

置は來る廿八日より返會ともいふべき全 て撃行されるが去

全満洲の

滿洲選手や推薦

氷滑スピード九名の内七名

冬期國際競技會へ

水に憬がれて

を語る

なら

(可認物便郵種三館)

の香にむれて成かに水面にたゆたった少日が力無く落す晩春のたそ

の面を翻ふてゐる、二人来は

日本見事に快勝

(日曜火)

=

感情を嚙み殺し

只管恢復を祈る

父の看護に歸朝の途中

大人を 同代十一日入港 スの一人尾上梅等式におけるペストクラ

こスプリングコートを引り掛けなる性丸で來達した、ニッカボツカ

ラ てゐるのでその足ならしさ云つ た様なものです、大連には三日 間、奉天、撫順、安東それから 間、奉天、撫順、安東それから は暗京しなくてはならないので すかられ私は二月と四月さ七八月は公休の様なものなので常にこの期間に旅行を

福立についてですつてさめ猿之 ・ ちらに來れのです何?春秋座っ ちらに來れのです何?春秋座っ ちらに來れのです何?春秋座っ ・ しましているのです今度も

心境を語る濱口雄彦氏

月

フィガー三名を候補者さなしスピード、フィガー、アイスポート選手を派遣するこさにの三種目に選手を派遣するこさに

石原省三(大連) 木谷德雄(安東) 池見正信(大連) 大澤義一(奉天)

中より十名選抜する

馬鹿厂

梅幸の

歐洲行の足ならしに

スピード旅行だ……と言ふ

本スケー

ケー

五

『東京特電十一日盤』大日本秋上 「東京特電十一日盤』大日本秋上 「東京特電十一日盤」大日本秋上 「東京特電十日正午から上野様養報 で同職点理事代表委員会を開催された。 「東京特電十日正午から上野様養報

氏名左の如し

フイギュア

ピー

۴

るこさに内定した機蔵された選手

か選抜されることになったがホッ

吉野正光(撫順) 行田 和 行田 和 行田 和

|職盟加盟の諸チー

個同情に 對しては真に点数 の至りに堪へませね、これより の至りに堪へませね、これより の至りに堪へませね、これより の変を見た時の私の心持を御察 して なます、今度三年中振りに老父 田に會へるのは嬉しいに違いないのですが、病床に痛々しき父 の姿を見た時の私の心持を御察 して 対し は しい と し下さい 液 大連は初めてですよ、上海には大連は初めてですよ、上海には一大連は初めてですよ、上海には一度大連な主態々やつて来たので度大連な主態々やつて来たのでです。

日

人知れず熱源に咽むだので

麻醉劑取締規則 受刑者記錄を調査

廳令變造事件の進展に伴**ひ**

一之助氏さ共々來連

當局の對策下準備

『ザクレップ十日巻』 デ盃欧洲ソーン不戦一勝組第二回戦日本野ユ デ盃歐洲ゾーンユーゴー戦 ーフエル組を破り日本は三勝を敗れ続戦の後ククレザイック、シェ の後ん受けて整行佐藤(次)心地スは第一日シングルスに日本二勝 -ゴースラビア試合第二日ダブ

本議論が戦けされてゐるが結局は「影極注目を惹いてゐる」といい。この結果は投資界に於ても既に種の調査を開始したものと見られ時に称した事候の善後處論である。 の點に關連し關東顯が受刑者記録である。 の點に関連し関東顯が受刑者記録である。 の點に関連し関東顯が受刑者記録 著しく進步した 東三省の競技界

け三回戦にてエザアトを禁戦するとなり先づユーゴースラビアル退

(日) (日) シエーフェル (日) シエーカー・ (日) シェーカー・ (コーゴー)

奉天の豫選會を視察した 岡部平太氏歸來談

りまでは、りまでは、りまでは、りまでは、りまでは、りまでは、しまでは、しまでは、しまれる第十回世界オリンピック大器近中華國のスポーツ界の印盛は、に本稿ロスアンセルスに然て整行器近中華國のスポーツ界の印盛は、

沙市東京間

賞金を一手に

振出せんさする

意教

込みた成して

るる

着た十七、八の女學生風の娘が會 で口誦みつ、水色のジャンバーを おくる盃影さして 社員風のモポさ打連れてポ でになれば紅地から

「ちょつされ」

心地にの一寸され

い口先から煙吐いたかさみれば、 べつさ撃て男さーもよに願かに笑 「煙草吸ふの?」 は會吐風、好事務能・シ

「あなた乗りな 横斷飛行 米飛行家發表

出身にて六人の子女あり、良妻でいき、故夫人は大阪梅花女學でいぎ、故夫人は大阪梅花女學でいき、故夫人は大阪梅花女學をでて病氣療養中のさころ世の一分逝れる。 津田氏夫人 **天氣豫就** 市內鳴鶴臺 ◇家庭養鶏家に急告▷

大連紀伊町八五 電話二一四四五番

頭痛じノ 分月四 地購買會常鐵體 BA 冬 組組組 日田 商 會

信會社へ昭和六年会月参拾壹日解 管會社へ昭和六年会月参拾壹日解 市滿洲旅館株式會社 野東市播展町書書出版之トキへ清算ョ 大連市播展町書書地 公告候也 昭和六年四月拾壹日 大連市播展町書書地 大連市

田

雑中乍勝手御通知に代へ此段一時四十分遂に往生の本懐を儀 豫で病氣の處世縁盡きて

五月十五日

ドこ巧妙なネットワークに日本 返し一進一退の好ゲームの後日 本第二セットはユ軍奮起しスピー 三さリードしたが、日本衛く盛 ゲームを得た 二さリードしたが、日本衛く盛 本ットオールさし 本ットオールさし 本勝ち 本勝ち 終始駆迫して遂に日本機勝で

根系も大関係で、十日 新系も大関係をいた 新たに駆消不平 十一で東北をは

確かな 感 露艦へ號の金庫引揚げに

事と

國民政府の

運動場

五

千三日

十四日

十五日

中山陵附近に

潜水王片岡氏來る

深山の一座を引いては一寸な を でしてるますかられ、松析 とでしてるますかられ、松析 とでしてるまでは、本析 名を護はれる片幽門ので大きく笑ひながって大きく笑ひなが 作業の ンノへ持入まったす。 から殆ど世界中のこんな話をドー から殆ど世界中のこんな話をドー

大等國民政府要人國會職員等百餘不多別、蔣介孫氏は納育政脈の翻嘴で第一の要なた。 大学國民政府要人國會職員等百餘

作業の 方には自信があります――是非成功して見たいさ思ってゐます、五日間位滞在しますが今度は潛りな入れる必要はないさ思ひます『寫眞は左片岡 ないさ思ひます『寫眞は左片岡 ないさ思ひます『 四十萬圓

に當る筈である

グ戦順延

重實な寫眞スケベストフキルム ザイ

ケムッで

十錢也

金四十九圓五十錢也八ケース付

金八十四圓也八ケース付

玄人の方にも

十六枚寫し 初歩の方には御誂向の練習用カメラで、ハイコン 小型 判力メラ!!

BABY BOX 1:11

BABY BOX 1:6

0,

(OLIBRI: 1:4,5

•

っ十一日入港の

現在所有主たる和歌山縣櫻井常之 ペ號の所有者 「東京十一日登】十一日のリーグ 製書頃から降り出した雨に崇られ

の日曜で第十日間の耐空記録を作り日曜で第十日間の耐空記録を作り見います。 煙突男を空中で診察する 雨で弱つて食事を攝らぬ

りなる解析を得るまで厳じて降りりなる解析の代表になってあたが九日の聴で急になって前代未聞になって前代未聞 は同じくアメリカ飛行家アッシュ中尉がパシフィック競を以て 日本から太平平を東へ一線に横 いの形でなり非常な興味を喚 がひの形でなり非常な興味を喚 が起してゐる

見玉總監の

.

•

間

大連市浪速町

樫

電三七三七、四

四七三八番行

連地方法院哈姆等都則

さいなつた

日が暮れたので十一

はり目下問題さなつてゐる麻酔無 動機が大連地方法院に動い酸人 を地域事局が機能するさころあっ を地域事局が機能する。 を他の関東屋前で現

訊問調書 廻附され來る 屋イスヒょぁ用信-

特別大犠牲二週 金屬、麻雀、紫檀細工、紫檀細工、 入犧牲二週

大連市浪速町三丁目 割 弓 马

專門店 電話二二六 の九 街

滿日社印刷所

(A) • (W)

.

話電 中 印刷材料販賣係 四三二十

也 IV 小倉厚司 電話四四五七番行信機町市場

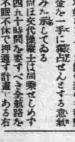
四七番 大連

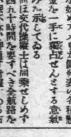
缺補 學生 募牛ュ ++ 紀名名 法政學院

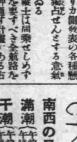
後は十時職までやつてゐますが、

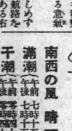
トの小母さんは上機能なのである

帯高機の花の窓



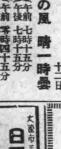






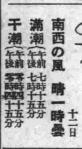


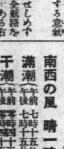






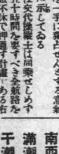




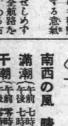


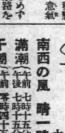


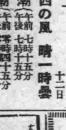






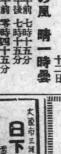
























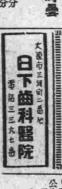












百

上れ歌響しようさしていてこさ

九千

家の一人でありながら、喜多のあの様な悪い奴はありません。

たこと

能しくて、みんなに達

松竹大レヴュウ

い呼 假 奥 行場 一円

六十二 時 四時 十分

電話一つで

科科兒小

1

(解かわけわからず

しかつたこさも、

日泣き頭し

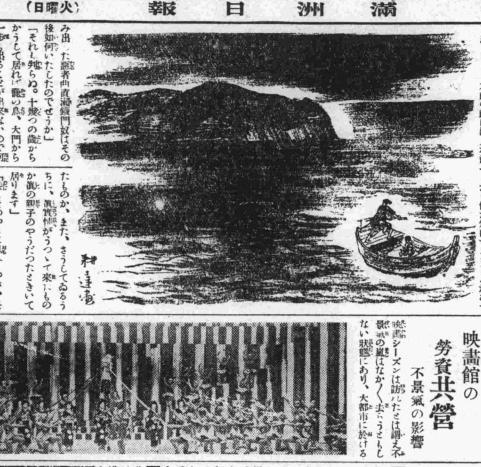
ら融者ださも何さも思つてるなっかりませれ。子供のことです

出ることが出來ないので解

い間がの上に乗つてゐることは堪

(日曜火)

幸校



八段解說

常



• • 切封日二十月五 •

四 切封の第ンラムー本的對絕とび浴を壁の境議狂熱 資生。介之龍ド月 記·平太 國 南 ● 作原氏五十三木直 記·平太 國 南 ● 作原氏五十三木直 記·平太 國 南 ● 経來の駕中るせ達に極呉狂熱・総連聞新日毎阪大 資生・子純原・蘭英川吉・男海泥尾橫鄙映唄小ロエ 銭 まやいやちと 藩 興 え ね ⊗ ● 脚行ロエの人ニスロドマ者を奥さりあロエに々港



大連市大山通り泥建町角 滿書堂文房具部 電話四九九 四四三〇六

贏高荷物要

九七町速浪瓊大

店服哭公荥德

省九九三 七話電

楼公荥 德 地带二十七 町速浪

毛 缺

糸

織 物

絹物

0

洗濯に

For All Fine

Laundering

MANCHURIASOAPMFG.CºIII

毛糸店、 お洋品店、 お

63

~毛

セル石輪同質の優良島にして他用至って軽便効果極め缺くがからざる必需品なり



神常用の方に限なく喜ばれますの無髪に染り、値段もお安く い黒髪に染り、値段もお安く いまで、など、など、 新發賣の(翻)ナイスは

評好の大絶れる切封て於に楊劇國帝 期の開公に滏潚映大の題間るせ博な



B

その翌日から行方知れで」「現か幸兵職機の家へ難けるこ、「現か幸兵職機の家へ難けるこ、

る。子供心にごうなるか

額日記」宿屋より大井川迄三、中村歌騒十八番の内「生寫朝」一、艷容女舞衣(三勝半七の場)

6-A-3

Æ

五

一段田能員に連れられて」

た。そして二三日してから、八丈 で、一度艦を南のがへ矢のやうに で、一度艦を南のがへ矢のやうに

愈十二日限

育兒之友 進呈

BS. 1.

S.P.

社 的 式 株 觀 養 本 町 速 汲 市 速 メ

Ö

AZUMI & COLTO

ケ島の性を大廻りして北へ北へさ

大連麒場に開演中の中は歌『一座とは、は、祖田以来好評が順にもあるが、は、祖田以来好評が順にもあるが、、は、祖田以来好評が順にもあるが、、一次定した。十一、二日嗣夜のお名が、大連献場に左の好くである。 五の琴り沿音 ことに 大東竹十郎日作及演出(新作)

さうです。道手の來ることは初めれか探したからいけなかつたのだ

五の中村歌屋

か歌

新

戰 (其八)

たの一粒の切れよ 小兒病の清算こそ から病の清算こそ

六 和

「はい、五十里、海の彼方の島で

探す人が、夜

江戸のおだらう、さば

夜だったから知れません

(可認物便郵種三第)

流

加

修

60

辻 占 竇 (六) 「八丈島さいへば、遠い遠い池の

これも小さかつたので、あさで聞ったであらうか」

総失してしまつてあるここに気がって、七つのを光の珠のうち三つ

ついたのですし

事であるがなかく〉やつかいなも を場合が多い様である、株しながら今 を取京館で行われたがこれさても を取京館で行われたがこれさても を表した。 を必要であるがなかく〉やつかいなも

愛育意識

曲眞瀬が持つて行つたので

儘

達 介

無で經營者の給料不搬から從製し が、昨今全國的に常設館の經營方 が、昨今全國的に常設館の經營方

勢資共同經營は理想的な經營が増加したことであ

朝野ら

かなる 發

山 林 教 哀後前

地方小都會に於ける不景氣は農村活動常設館の興行成綴はまだしも

手輕に 3 ります からな 再三間きましたか

るこ喜んで居ります。 東公園町御用商人主人談門前より膝櫚節が痛むので我慢して居たが痛みは企く別また、 梅雅性のリユウマチスだらうさて共手常なし深を吹き、 大が更に痛みは止まりませんでした、 おまえた、 梅雅性のリユウマチスだらうさて共手常なし深を吹き、 就きました、 梅雅性のリユウマチスだらうさて共手常なし深ら楽し歌いません。 梅雅性のリユウマチスだらうさで、まだ薬が残つていません。 東公園町御用商人主人談門前より膝櫚節が痛むので我慢して居たが痛みはなるといいません。

車 家 電九九九六番振替大連二四三四番

神經痛で苦しんであらゆる治療をしましたが更に効き目なく永らく床にあって枕元の品物と、大元の品物にも手の脳くので之れにした心で、大元の品物にも手の脳くので之れにした心で、大元の品物にも手の脳くのでとれにした心で、大元の品物にも手の脳くのでとれにした心で、といっては、大元の品物にも手の脳くのでとれに、からて大服用しました。どうなる事かとす手を受けましたが、騙されたと思って試服方を勤められました。大元の品物にある治療をしましたが更に効き目なく永らく床にあって状況がある。 お困りの方にお は りの方にお りの方にお りの方にお りの方にお りの方にお りの方にお りの方にお

植機

ピッ



一五 燕店

番番



水むしに

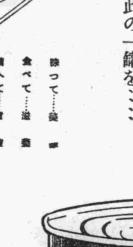


減主・子三喜光・吉祐田岩・夫輝利毛・子弘崎川 の子女婦の下天滿やるれる戦連に紙関新知報度一



の精良品

是非此の一 子 0 罐を: 世 界



松下商店京都出發所

切







うつの 種

煙

香

Sil

は

もろごも

万事春込み申候

益多

5

0)

で

發達

英語では - ンストル が多いさいはれる。

、月賦でなくて測賦でして、念のたといくば外國のは連絡の関

安月経験にも ・無君か巡へるさ いて、月駅でいる

ちず、仍つて速気委員會を脱きを 東殿に出頭して安政兵隊につき院の成立が、理事長本 東殿に出頭して安政兵隊につき院の成立が、理事長本 東殿の歌呼あれて來、十四、五日 決定のため當局の設盤を得るに至 の成語が得更めて報告したので關

れてゐるが、內地の取引所合

市水河では大野・北下場を新設する金五百萬元を以て信表意料を限公・本郷の公本際のいまれて、八路派及び継続のいせいが、八路派及び継続のいまりである。

あるまい

日

を製造されるのは採木敷、背景、 を製造されるのは「水水」、 を製造されるになり、 を製造されるになり、 を製造されるのは、 を製造されるになり、 を製造されるになり、 を製造されるになり、 を製造されるのは、 を製造される。 を製造されるのは、 を製造されるのは、 を製造される。 を

いはれて居る、社長問題は結局加 格を有するものは接機を創するさのは接機を削するさ に人事が針かさ

安選氏が有利な

ろでは 大勢上

七、八日の臨紀で決定し連くも来ら十四の臨紀で決定し連くも来ら十四の臨紀で決定し連くも来ら十四の臨紀で決定し連くも来ら十四の高いのでは、 鮮取引所 十七、八日ごろ 令 大豆に繋げるといっては紫水道り百尺につきの大豆に繋げるといっては紫水道り百尺につきる大豆に繋がを変素とれ、満洲特産物中の大大豆に繋げるとれたが、新輪出根が低等の乳上げをも大豆に繋げるといっては紫水道は水道、新輪出根が低等の乳上げをも大豆に繋げるといっては紫水道に大きの水道が低等の乳上げをも大豆に繋げるといって感があるので満洲重なみないことは繰りにウマ過過をあるといった感があるので満洲重なるといった感があるので満洲重なるといった感があるので満洲重なるといった感があるので満洲重なるといった感があるので満洲重なるというという。 調査方を依頼した、しかして 製品目た砂撃してこれが秋。 製品目た砂撃してこれが秋。

五日ごろ

再開

理事長に瀨之口氏

月賦販賣の話

1 られてある調査機関に、その客の ・ 新記を襲り渡して代金を現金 ・ 新記を襲り渡して代金を現金 ・ 一方では金融業者に ・ 一方では金融業者に ・ 一方では金融業者に ・ 一方では金融業者に ・ 一方では金融業者に ・ 一方では金融業者に ・ 一方では金融業者に

合さたあげてみませう (小寶總領でありませる)

さます、さころで月賦掃込を認つの手續きでピアノル手に入れ、次の手續きでピアノル手に入れ、次

・ 大変認識能定額で 月駅販管地定割 ますが、この協盛、なものだか、ますが、この協盛、なものだか、ますが、この協盛、なものだか、ますが、この協盛、なものだか、

當市保

٥

五 品 (引) 数 豆 (一) 数 (引) 数

等形交換(十一日) 全 2日枚 「三天」開発園金 2日枚 「三天枚 三十一日) 替 相 七四一兩五七四一兩五 雜高豆大 大連 報 聚 柏 豆 埠 頭



最寄店所令

ないは、また月賦を置いていて一戦事あつて修移がいるする間がないでもありません、また月賦を置いてもありません。また月賦を置いてもありません。また月賦を置いてもありません。また月賦を置いる。

高人側よりかた

これないくつかの段階に分けて、これないくつかの段階に分けて、 たらすわけです。

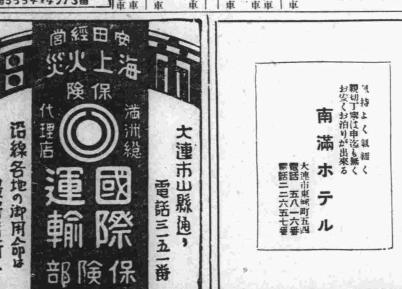
によって得意の購買力が分るのでの見當がつきます、なほ調査機關

出版を報上げた福つた 民政府は今度は 日本がら之を實

上 海子(高) 共日 桂門 北平 (上 海子(高) 共日 桂門 北平 (1) 東京でして、デリ安を入れ、金上 智手之じく、デリ安を入れ、金上 で海護せる銀野薬園原會議(東京 大連筋の利宜に一時下押す、磅三片十六分の五、銀行賣手買手、三井、一次の一、銀行賣手買手、三井、一次の一、大連筋に関係の養力に関係の養力に関係の養力に関係の養力に関係の養力に表した。 大連筋に対し、成盟水、信亭、志豐水の買いに再び上持歩調さなる 上、泡標・金

各地特產發送高 本期原 本長春 大豆三〇車大豆二六車 離毅 八車高 聚 —— 電 報 四三二車 雜 数 三車 雜 数二二車 和 一豆 粕 四車 和 一豆 粕 四車 東 五 七七車 高 聚 一九車 高 聚 —— 電 報 一 三 車 額 四車 特產 數

四六車



後五時より委は會を開いて草案に よって討議したが多水のが句像正

要が高野湾で変の確立せるなく、 を要するもののみなりない。 を要するもののみなりを を要するもののみなりを を要するもののみなりを を変するもののみなりを を変するもののみなりを を変するもののみなりを を変するもののみなりを を変するもののみなりを を変があいまえばで、 の、ので本食議所は政策の推薦に依る幹部のは政策のもかに倚頼するも実にの要らんこで、 のででするとない。 にでするとない。 にでするとない。 にでして引退せらめんさな をできない。 ででするとない。 にできない。 にでする。 にできない。 にできないない。 にできない

施設けらか、事高も協業開発に を避けるが、事高も協業開発に を避ける場合を の表だ緊急安富なるものあるを であれば4昇の人材に網球の登行に精進せらむること の表だ緊急安富なるものあるを であれば4昇の人材に網球しむること の表で緊急安富なるものあるを であれば4昇の人材に網球しむること であれば4昇の手に歸したる。 では1の手に歸したる。 では1の手に歸したる。 では1の手に歸したる。 では1の美にかなの限りなり を表したる。 では1の美にかなの限りなり でさすれば誠にか太の限りなり でさずれば誠にかなの限りなり でさずれば誠にかるのと信ずる。 に今撃國の奥論圧然さしたる のを機ご國運の前途に想到する に今撃國の奥論正然さして数に といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なると といこも不可能なると といこも不可能なると を認じるとの表に といこものではなりなり でさずれば誠にかなの限りなり できるが故 できるが故 に今撃國の奥論正然さして数に といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なるは といこも不可能なると といこも不可能なると といこものである。

0)

糖質が騰貴すべして報道されてる砂糖制度は 世界産糖制限協定の大利は成立 世界産糖制限協定の大利は成立 したが、その細則はこれから護 したが、その細則はこれから護 したが、その細則はこれから護 したが、また将来において したしたことはないと思ふ、な でなら協定は結局商品の棚上げ により、相當い價 を維持する により、相當い價 を維持する により、相當い價 將來大した影響な きもそうだ 正隆銀行が

二、新順 一、伏木 一、伏木

10,000枚 10,000枚

さしては契約違反

よの辨金な支

つてゐるので

は直にその旨内地

-t 10000

朝鮮運合問題

(1)

人團圓近

社長に安達氏説が依然有力

今夕までに解決か

^{規定}改正

土建協會 水道料引下 五、〇〇〇枚

办

重要物産組合から満鐵へ 大したりをすれば國民政府側による影響れたのではないかで観られるを考慮したもの主信せるもの主にが、即つまた疑い良氏も耐意にあること、てその間の誤解が得られたのではないかで観られてゐる 土建協會では土木工事川の水道料金が警通家事用水に比べ四倍、工業用水に 地でても三倍に近い高率さなつて 地でても三倍に近い高率さなつて 地ででも三倍に近い高率さなつて 地ででも三倍に近い高率さなつて 地ででも三倍に近い高率さなつて 地ででも三倍に近い高率さなつて 地ででも三倍に近い高率さなつて を大の損失を興へ、また限令監督を大の損失を興へ、また限令監督の対象させ久力さにまず、慰選等の興度させ久力さに 製品に繋じ向い五年間が残する政府は國質提唱の意味で該 さいなつたさ 南滿瓦斯

滿洲關係重要

0

税率調査を依頼

支那新輸出税則の發表

來る廿 斯總 會 大差なく配置につき窓で、総の等で、大きなく配置にの答で、総の等で、総の等で、総の等で、というない。

非職職にのできます。 しく大口駅 取得 が大豆は全部な が大豆な 八區の大豆 ツサル 物に 地域の 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘 大田九十八銭五厘

支那側で新設

麻袋 産地情報は青十六分の一 を銀八分の一安為替同事さ弱保合 を銀八分の一安為替同事さ弱保合 を銀八分の一安為替同事さ弱保合 であつた であつた

100 安東 行 連勝丸 五月大山 一河雪市品尾 照闽丸 五月大山 門司宇品尾 照闽丸 五月大山 野東 第 五月大山

本 店 大阪商船條式大連支店大阪商船條式大連支店 電話四二三七番電話四二三七番電話四二三七番電話四二三七番電話四二三七番電話四二三七番

別の生産者側である百姓が困るのつもりでやつてゐるから大とない。これからたと満時から輸出業者はそれかくそ

況全日も

産

中限 八安 八名 八名 八名 八名 八名 八名 八名 八名 八名 八名

平 1000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000 11000

東京期米

野さはなる 官商筋賣らず

(四)

政黨政派超越

に闘す

3

八連商議

對案成

、 変質の方法は總督府令及は業 に 遺券を物産を同時に上場出來 に 遺券を物産を同時に上場出來 に 遺券を物産を同時に上場出來 ないこと

正 深川金一郎

辨金八萬餘圓也

問題化の

問

早む三萬五百箱の手合があり主架早む三萬五百箱の手合があり主架して華蘭筋の手に多く取引も振びたく、一大型は低して、一大型は低して、一大型は低低である。

神戸期米 前場前場引 元金 (大名) 元金 (大名)

東京株式 東京株式 東京 株式 1120 1120 年 新 前 監督 1120 1120 11210 年 新 前 監督 1120 1120 11210 年 1120 11210 日 1120 11210 11210 11210 11210 11210 11210 11210

月月前一節前二節 月月前一節前二節 月月至0至50 月月至0至50 月月至0至50 至0至0 至0至0 至0至0

限 大阪綿糸 安 値 11人20 1210 安 値 11人20 1210 日 1 前場寄 前場引

庶務係主任 藤山 一雄

則さして會員組織させることなる點は

今画左の通り人事の異動を信ひ陣で、なり、自然人事に就いても死

近く篠崎書記長が携へて上京

に提出

福昌華工

開催決議と三米

不娱保主任 淺野 政晟

動の

を したるも、アメリカ上院 とたるも、アメリカ上院 とたるも、アメリカ上院 と アメリカ上院

即ち川崎川船は四月

でころ、右三般に というである。 を内地震・筋がら を内地震・筋がら を内地震・筋がら

東氷錢新

중 1 등 1 三無三無

鎮 格(保合)

二十五圓十錢

五十圓二十錢

當期•保合)

物(乙部)物(甲部)物(甲部)

総総 糸 暴 落 稿 糸 暴 落 三鐘新(引寄

正 金(銀勘定)

日本向參有實(銀百圓)登圓00

正 金(銀勘定)

日本向參有實(銀百圓)登圓00

正 金(銀勘定)

倫敦问電信實(1)三元0片分支

信用付三月質(三)三.0片四分三

同六十日排實(回)三.0片四分三
同六十日排實(回)三.0月之分至
同六十日排實(回)三.0月之分至
同六十日排實(回)三.0月之分至
同六十日排實(回)三.0月之分至
同六十日排實(回)三.0月入分至
同十五日排實(回)三.0月入分至
同十五日排費(回)三.0月入分至
同十五日排費(回)三.0日入分至
同十五日計算(回)三.0日入分至
同十五日計算(回)三.0日入分
日本(回)三.0日入分
日本(回)三.0日入
日本(回) 会主题(一十六五月月 100 日 1100

高橋浜船大連出帆

五字音牛类時 - 六一八番

大阪棉花 大阪棉花

入連市伊勢町(日本橋南詰

西岡茂次郎本店

電話 八〇九七番

保

險

らコナで目潰しを

近寄るべからず 喰らふやら りに足をごらすや

は他を

関東魔第一級主任技術者 提原勇雄

電話七三六九四

・ギンク ・オフセツ

·活版·石版

大連市俱馬町五二

電話六二八七番

民會議後に排越されるであらう

安協は宣傳か

的解注策成功を暗雲も一掃さると

既得權や絕對維持

わが當局成行を注目

妥協成立說

傳へられる條件

陳兩氏間に

滿洲

闘する

へ出來的さ嘘いてゐるさ

一時迄電泳の結果起草を郷異の四氏は十日午後二

一二、和界、和借地、鑑道附屬地回 一、治外法権即時撤廢 一、治外法権即時撤廢 一、治外法権即時撤廢 一、治外法権即時撤廢 二、各國の支那における郵便電信 二、各國の監支軍隊職廢 二、各國の監支軍隊職廢 二、內河航行權、沿岸貿易械回収

一二日本會議に上程

收

いるも他の地域は絶對不可てあだけは短期間小範圍の除外を認

張學良氏風邪

日支法權交涉に暗影

・『南京十一日教』駅県良氏は転分が悪いさて本日の本倉職や映廊し このため上海で影等版へられたが 事質は県良氏は軽数な観光が悪いてあるらとい

の起草委員總管に

日

宣言文

8 = +

國民會議代表强硬に

法案の修正を主張

特に主席の權限縮小に關して

月

五

論であるが、一面東支の郷弊联 を原因は、世界的不況に伴ふ輸送貨物の大減少に依るこさは勿 送貨物の大減少に依るこさは勿

(現金交 ! 及び軍事輸送報) (學校費、路警費)

(版內市)

(鐡道の財政難に關して最

經營が禍ひす 過去の無謀な 東支の

財政難

社

說

に内幕な暴騰したものださ云、一般のななし、一个日の不況時に

露協定第十三條に依る兩

決算に於ては四千九百萬金留さ千九百萬金留に更正したが結局

昭

最後の行詰りに逢着したかの如郷、日く何さ恰かし鍛進経營がは販手信の不撓、日く时産の資にだける。

関車その他の

に至る五ケ年間の純益金處分を試みに一九二五年から二九年

東支は今や選まき乍ら根本的 の革が企て(一)社員給奥減額 の工危地を脱せんさもつゝあ るが既に手退れで病膏盲に入つ た感がないでもない。

養成五ケ年計畫家は委員附託さな表院管地氏等六十四名提出の農業

真施すべる 関糖を軽減する故凍かにこ 関糖を軽減する故凍かにこ

職参加が要請する國際職盟事かれる歐洲聯合案委員會第三

スペイン

また動搖

帳簿を検査

滿紡工場の

一、南部の民が東北、西北に移住た農業五ケ年記載なば、西北に移住

日露漁業條約改訂

中、理事定員に關する件、理事候 ・業務理事山田爲學、參與理 ・業務理事一名增員 ・業務理事一名增員 ・業務理事一名增員

交涉開始訓令

委員會を

お組は僅か二、三十萬側に過ぎ ない、即ち新に局を設くれば勘 くも十五萬個な要し膨止による は上記の如く勘くこの少金額の 球型を捻出するために拓務者を 勝理を捻出するために拓務者を 勝理でお出てるために拓務者を

たが戦事館さしては附縣地内の同こさは差支なしころり満続代を転訳に、 本人とは、 一年後財政職を訪問したのは、 一年後財政職を訪問したのは、 一年後財政職を訪問したのは、 一年後財政職を訪問したので、 一年後財政職を訪問した。 一年後財政職を訪問した。 一年後財政職を訪問した。 日本ので、 一年ので、 一年ので

市営住宅家賃の

滿鐵定期昇給

滯納と善後處置

市當局は規則制定の意無し

五ケ年計畫案

南部の民元東北、西北に移住 せらめこの地域の整理ななすべ せらめこの地域の整理ななすべ は、南北、西北は隣接に日 路頭域が常に親つて居り室固な 防禦な要す

不況に處する對策か籌じなかつで、同時に東支經營の當事者が

があつた『奉天電話』 歸奉木村滿鐵理事と會見交 渉開始すと通知 所に日支鐵道會議 其他の報告を終り 今週末 東北交通委員會への 報に高紀毅氏は 中央政

と願られないさ傳へられてゐたも 態度に影響され参加を見合せるや 就では影響され参加を見合せるや

高紀毅氏今週末歸奉

村滿鐵理事と會見

しくも共和派と観光な楽し早除の出 が見るさ云な騒ぎて市中は沸き 返つてぬる、緩いて共和派の肩を 接つ群衆の一隊が帝政派機関紙ア

砲して数名の軍隊者を出した

道

涉

の構造を対して来た帝政と、大学の機能の機能が見え出して来た帝政と、大学の機能が見え出して来た帝政とは、大学の機能が見る出して来た帝政と、大学の機能が見る出して来た帝政と、大学の機能がある。

日銀帳尻ご

金融狀態

報告はんさも居り、これに 監正以外の大歌評を加へる事 になる不問に附し原家可 の大歌評を加へる事 に対しの大歌語を加へる事 おが政府原案は中に行政事項

は、 軍事關係にて國民政府記案が通過では、 軍事關係にて國民政府治療のを の目館のある處も明かに看取された の目館のある處も明かに看取された の目館のある處も明かに看取された の目館のある處も明かに看取された の目的のある處も明かに看取された の 修正支持者も多窓の判様常有力と の 修正支持者も多窓の対様常有力と の しゅう はいから見て大き政府が表演した。

結局政府案通過か 我最後的具體案に

寒くやし知れず日本側と野成の色

食職総念邀で孫總理の遺敷ご國民 『南京特電十一日發』本日の國民 三月二十一日立法院通過の特盤 本會職は江無代表陳斯的八提出の 本會職は江無代表陳斯的八提出の 本會職は江無代表陳斯的八提出の

五ヶ年計畫

農業を開始

食識に関する実確に氏の総一時間に重る微説があった、軟が花氏にする微説があった、軟が花氏は十時五十分気出離したがだ姿を見せて来子女氏も見えなかった、軟が離氏に減らに対して無いによって極く気で、大変を見せて来子女氏も見えなかった。、大変を見せて来子女氏も見えなかった。、大変を見せて来子女氏も見えなかった。、大変を表して、大変を表生を表して、大変を表しくなりを、大変を表しくなりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりを、大変を表しくなりまりまりを、大変を表しくなりを、大変を表しなりを、大変を表しくなりを、大変を表しくなりを、大変を、まなりを、大変を表するなりを、大変を変を、なりを、大変を、大変を変を、大変を、大変を、大変を、大変を変を、大変を、大変を変を変を

洋漁業問題

剣もほろ

特電十一日發」貴族院公正

會では十一日午前十時より昭和會

少金額の捻出に

廢止せよは暴論

拓務當局の反對理由

東拓の職制改正

『東京十一日登』東接では今回職一様を改正し従來の理事、監事各四 近く總會で正式決定

一、陳潛菜に兩廣軍用全幅を與ふ一、陳潛菜に兩廣軍用全層東省政府主席こす一、蔣光鼎を廣東省政府主席こす一、蔣光鼎を廣東省政府主席こす

【イスタンプール十日發】今時ト

銀對策國際

日英とも

王唱を逡巡

議土國参加か

本社三階廣間及講堂で開催

五月二十八日から十四日間

主催

| 五月廿八日から二十一日間

の計算が一部の人 職に上のた時、日本で、一般によりた できての御殿が一部の人 職に上のたけになりた できての御殿かるそ、 に関すの歌い一人が日く「あれがほんこと は少しひごいると

三六、九○

では、 でのことか判らない。 一致所主施は、後年人でよい」と でのことが判らない。 一なでも政治家・軍人の職分が訓練 となるまでは百年河家を徐つに等 でのことが判らない。 本平も政治家・軍人の職分が訓練 となるまでは百年河家を徐つに等 したが は、ころ共然行の可能性 いなご信すべくもない なご信すべくもない ころ共質行の可能性 民國の内閣防止案と

らずと海標金の強含みた傳へ、

背市變 七六五限

鈔票變らず

標金強含み

関東藤幹今(十)

一日附)

総条 大阪三品大引は前場客に 地も期近四十修安中先二三十變安 部く身送る 職をり送る

麻袋變らず

○現物後場(銀社)
○現物後場(銀社)
○現物後場(銀社)
○現物後場(銀社)
○現物後場(銀社)
○現物後場(銀社)
○ 現本高 六十単
曹鴻大豆 出来不申
日本高 二萬四千枚
日本高 二萬四千枚
日本高 二萬四千枚
日本高 二萬四千枚

不不滿七七七七鐘 財 不不一不不 銀 七二八八新

出來高 二百七車 出來高 二百七車 上來高 二百七車 上來高 二百七車 上來高 二百七車 上來高 八萬一千枚 出來高 八萬一千枚 出來高 八萬一千枚 出來高 八萬一千枚 出來高 八萬一千枚 出來高 八萬一千枚 出來高 一千五百箱 上來高 一千五百箱 上來高 一千五百箱 上來高 一千五百箱 上來高 一千五百箱

一七五不後 〇二六 三二六 八五

十一日午前十時より臨時總會を開

勸銀重役選舉

業銀行法改正に伴ふ定款變更の、不動産抵當證券法實施並に勸さ左の性を可決した

100

藤龍三郎、岡田信の三氏は静伝す 関く東旅では現重夜澤田野丈、寮 三重役辭任

事になり二十一日の株主機會にて ・ 出すのは之が最初である。 ・ 出すのは之が最初である。 ・ 出すのは之が最初である。 ・ 出すのは之が最初である。 ・ 出すのは之が最初である。 ・ 知ずには窓声縣と田淵郷氏の監選 ・ 知ずのは之が最初である。

株

當市閑散

九六〇〇 九六〇〇

へ 1、0二00 一、0三七五 1、0四七五 一、0六00 一、0七00 一、0八三0 十回 小桜 九四00

七八二五

况(十一日)

市

た 物語りました。

「雞鳥腹に入

支那の愛國の張いは死んだ。

ので

のでした。

卅三株の行方

1階つてしまひました。 何さ云つてか、何時の間にか二人抱き合つて

天幕の中の大頭目が、マド

の上の本母、政が世級とない、 の上の本母、政教の戦争を空に吹き 飛ばして撃然さ爆教しました。二 人の少年馬級が世然たる豪傑笑ひ に驚いて振ぶつたさき、共處には 世郎に踏る大戦目さ、黒塵毛を疑

馬賊の二人の美少

佐二郎

動ル酸かて飛んで行き

たのは夜が明けて間もない城であれた妖性の中に其

州の諺の意味を消鐸を介

の支那の脚版の心の底は永遠の恐らくマドリートフの脅めには

砂酸酸

然一蓑の七サンチ牛の山

馬賊の

日

地域であるが、近内在浦人十諸君 の構成が、研究の電話されつて居 り、又和共が襲々會令機論の離上 で、最も意見の交換を重れたのも で、最も意見の交換を重れたのも

大豆 鐵道大臣、大內閣總理大臣、拓務 官院部長一人

者の中に包含する事こなり、表面

大を祀る、三智さは整理、智能、 を変質を備りる、所が経際さぶふ人 を変質を備りる、所が経際さぶふ人 が、術を以て公明を贈え、防すの を変質を備りる、所が経際さぶふ人 が、術を以て公明を押え、精肉の ここて、大に妻子牙を苦める、其 なこて、大に妻子牙を苦める、其 ないまする。

阿彌陀に冠つて、場

垢だらけ が続

瀬かっ

即書 非文及 1 原需

骨傷 病ハリ、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番

お宅で

林毒 性墨丸炎蜈灸

チチ

ディース では、 一年 では、 日本 では

あつたーセナ

り地上に落ちた血の地上に落ちた血の

昭和家政婦附添婦賣電九七九九 特所添婦募集及派遣迅速 東總街一丁目一一三 元

クで頭を包んだ下

、第三項の學術經驗ある

てか、一向奏記者なく、門が、此願は、趣味神の無點

跨って駛るのさ同じで

大量の画物のにな

女事

女中

電の 金融賣買に何んさ言って相場三河町電五五五七で生れる 大里町一二四 仁 芳 商 行大黒町二二四 仁 芳 商 行大黒町二二四 仁 芳 商 行 大黒町二二四 仁 芳 商 行

看護

外勤

世記 本人来談あれ 三河町 正直洋行 電五 三河町 正直洋行 電五 三河町 正直洋行 電五

以內 國 員 各 二 人 以 內

に識者有力者の質成と整髪を得しては、 実持の拡張に応じては、 実験以 選次税共同志の滿鍵的脳部核気

明ます、松に紙上を通じて、程さして感謝に堪へない、程さして感謝に堪へない

とこに恒久性を有せらむるために政爭外に置かんさするを 関本主旨さら 関本主旨さら 関本主旨さら 関本主旨さら 関本主旨さら 関本主旨さら 関本主旨さら 関本主旨さら の変が(主さらて鍛道 関する項共他の重要事項さる、 別表、理事に関するもの、外、外 ので高さの契約(主さらて鍛道 のであるの、外、外 のであるの、外、外 のであるの、外、外 のであるの、外、外 のであるの、外、外 のであるの、外、外 のである。

りし者にして現に官職にあり、治濟蹊總裁、理事長、社長た

者・現在同農場を南北に買いて るる道路を廃止し総質してゐる 電車總路を環脈織路にしやうさ では、改張であることにす双手を響け で改なならげ顕脈織路には双手を響け でであるさ思ふ。 のであるさ思ふ。 のであるさ思ふ。 のであるさ思ふ。 はででがならば鑑賞道路 を原止することは時代逆行も要け を原止することは時代逆行も要け を原止することは時代逆行も要け を原止することは時代逆行も要け をのなならげ顕脈織路になれば の増加、線路を顕脈線に

自動車に氣を

理機の方に飛んで行つた。 (基地に堅み飛び出した。 際既ない けたクラークが吃糖して火災警報 かけ はたクラークが吃糖して火災警報 かい けたり の方に飛んで行つた。

にも散った無効の 何處へ行った? 何處へ行った?

ールの薬がない。 鉄塩のけれご薬がない。

信濃町市場前

白夜の街の魔術

枝庭

石 シを拾ふさ、伴に座席に飛び乗つかか拾ふさ、伴に座席に飛び乗つかかって流しのタク

「真紅の血潮

宋寫 滇助手支那人 大黑町十番地 大黑町十番地 大黑町十番地 大黑町十番地 大黒町十番地

女給 五六名至急入用

大

漫ないけれごそれに 様子が懸ではな 伴は再び公然

と南北に貫いてゐる道路の廠止故に輝み電単線路は現在の儘さ

滿鐵幹部恒

保持の提唱、希望

恒久性保持の機關

西﨑場の改悪

内以行十五 迎歡書投 すらさは傷中

のみを搭案したい。要すれば中央数据地の直標な小さくして環路の幅度を増せばよい。 斯くすれば前記の不利が無く

VC

(48)

日案内

吾

◆賞紙五日学刊は西殿場の吹造計 裏を解へてゐるが之に就いて鑑 裏を解へてゐるが之に就いて鑑 では、一致な我めたい。 存計畫が

(三)皋霰經驗ある者三人以內 の四人以內 支那

| 「五」民間株主中より三人以内 | 有が法を識じ趣旨の徹底と目がの人以内 | 有が法を識じ趣旨の徹底と目が | 有が法を識じ趣旨の徹底と目が 二丁貴衆兩院議員中より二人以
ス者の中より四人以内 さらては政府の融意さ雅最に信いた。 た受け納れた上、夫々の機關に な受け納れた上、夫々の機關に な受け納れた上、夫々の機關に な受け納れた上、夫々の機關に

語で寛剛で、音が進度 のがよいやうである、佛とか武に一般がはいかうである、佛だの影響、陳九公は招味使者、姚小司のがあつて、此方が一般に受したのがあつて、此方が一般に受して、此方が一般に受して、此方が一般に受して、いったが

能く手に白馬を捧げ

住宅

各種

柳花臺電六六五〇

モミ

クサ

劇場隣根本藥局電六七八二及胎毒の特効藥有ます

電話八二〇三番

電話六六八八番へ

蔘精

大重大山通 タイピス

INFUNCHIN

貸家

貸家

良明賃三六圓六二六圓

電話

貸計

で関が使の設備ある

貸間

登年極 電三一四一次 発情を表現 できます できます ままま できます マイス・コール 下名

んらしい太つた女が、館か抱へて

血潮が、愛す

なさ越んだほぼ動の遊みが、際の上で無路する。緊かり掘まって、要かり掘まって、要がり掘まって

が、の眼に遭入つてるないのに様異ない。来が必を選に人だかりは見ら が、の眼に遭入つてるないのに様異ない。 神代は飛び降りて、路上を輸出し たの 潮っつさり ばれまったのだ 死骸

かの故意に貸し

不用 フョ

ルは生であらず 古着町御古

商店 牛乳

皮軟糖性病病病 中 -1010六電·五二町野吉連大

筑後屋留店 ◇出進海外初員座場劇田神京東◇

の日四十三日三十計る當

第四所作事 紅新歌舞伎十八番の內 葉 **狩**長唄連中

坂東竹 中村 歌 扇 都竹長唄 七十餘名 五

優の 第一回御目見得狂言《十三日》 村 歌

扇 觀 座

名日 女本

一二二劇 園和阳圖唱

(日曜火)

な情様で、イザ湍つて見たされ、にはいさいふ、情なき和風に、政府をして其趣。 といさいふ、情なき和風になった。 といさいふ、情なき和風になった。 は、政府をして其趣。

所・道教學校で云ふものな、經營 ・ 大濤宮、道教の本山で、小西邊 大濤宮、道教の本山で、小西邊 太清宮と三清觀

が悪れ、時至るを待つ 忠 を表した場である、今日民間に壁の人神(壁である。八卦は周の時を められるこ云ひ、乾灰民職業地がの人神(壁である。八卦は周の時を

つ粥を啜ってゐる。 出頭けて行く姿がある

天帆

此印に限る。

大連市大山通小大連市大山通小

電話七八五九番

算盤の御用命は

達の所運んで 強には、死性の動にない 敵能 眼を、周圍の

何處へか拉った。酸の 死」萬 セナトール造も、 つたのであらう の屍體を同志

刀劍

学衣 婆 紫藤用 日極町 さかいや電五四三七番 で銀白金ダイヤ時計高價 電六二二六番 吉野町二二 鈴木金陽堂 白帆

此印に限る

三四四 地口

電話 後間 四七六七

第二 實

錄先代

引速大

薩

第三辨天小僧選

先松

傅家 株局の睾丸の温節の溶液です。 場入網内装の側似管の卵巣炎の胃 を連び側突側線の基本なり 大連市渡速町五丁目二百一番 大連市渡速町五丁目二百一番 大連市渡速町五丁目二百一番 大連市渡速町五丁目二百一番 16

灸 一份養鬼園

商店

核比衡を段値さ物品

可葉青市順旅

店商野吉

卷六八一話劇

五町儒敷連大 番六八〇六電 -----店商の等吾 婦の 外の服洋紗羅 たしまめ始を貨雜諸を寄立御度一貨雜諸

7 生步御 友 別指七帶七錦銘帶タ 仕ジ定 L BE 東ル側ル紗仙側 く抜を地頭一然嶄

店服吳やすびる 番〇三一話電

蓄音器 大第直ちに参上致します 修繕 淡尿器科**專門** 皮屬梅毒**專門**

重富醫院 電話七五二八番

上服附屬品普釦類

式

各學校御指定 簡 御 用

電洋

服店

大年 「1脳盗血の豫防の為に 2 卒中及中風 (強上、耳鳴、頭痛、メマヒ、肩コリ、短氣味の時等)

高木治 南瀬野川 大野東 藤原市乃木町三丁目

所

濟生醫院 電話セハ六七

是非御

試用あ

丙

引越荷造 海陸軍送 通關代辨 大連市武蔵町七 增田貨物自動車運送部

三丁目裏通り 日露洋行始めました電七六八五 お方は、あんぶく 堂 主 風呂崎

は御來堂下さい 帰む御方鎌

建築

西通三五電車通四階大連案內社 等勤業債券覆買並に金融

ムラ サ Ë

電話七三七〇番

亭

話四 Ξ 。葉

御酒席に限り花代申受

(警大)三着岩本(奉中) 一等須藤(警)十二米七一等須藤(警)十二米七

奉天醫大分院

ピクニック日 十日日曜日の人出 を敷は悪がある答で一層脈はひをを敷は悪がある答で一層脈はひをを敷は悪がある答で一層脈はひを 五九記念日

召集と記述講流を催したが帝國主義部に於て驚め委員各機關代表を 九記念日常日支那側に於ては省 するには遊踏な事業がないを語った。 既三十京版を出られた、地原氏は私語へ脱速脳を出られた。 地原氏は私語へ脱速脳を出られた。 地原氏は私語へ脱速脳を出るため、地原氏は私語へのは、地原氏に概と、地原氏に概と、地原氏に概と、地原氏に概と、は、地原氏に表した。 ている

銀安で患者漸減

来であり其の内の二項たる木材の衛生と騒取扱上の命鑑からの より再々の要望を為せる處で主観の敵易化については気に 部が打通、四部、海岸郷田に戦化の影響から輸入貨物の輸送徑路は

れたのであるが一艘に財界は不の本院の使命を果すべく設立された歌城へ分院は中國人患者のた

アマチュア

0

高見

滿洲寫生行

一日連れとむる等価主順の不利試を上から一車の中告書のみにてといいまする他を送日歌を上がら通りを受ける他を送日歌を上がらがある。

(十万) 山城鎮

管流狀態は良好

木材需要調查

|安の に全く間質になられば、する程振なする――金では れてゐる 鴨綠江

直營材も近く初筏

での通り直然がも既に二十流に

北滿向輸入品心

兩貴院議員

一大月になれて歌響客が根盤多数南 一大月になれて歌の数はあまり見られ が配には不深の数はあまり見られ の、館舗事館覧の間によれば、五 の、館舗事館覧の間によれば、五

工大記念日

支那鐵道を經 長春經由影 を潜む

病院に來る患者衝滅の現狀で主さし切つてゐる中國人は金建の日本

況の上に興度暴落で博 で於察ならて貰ふこさで於察ならて貰ふこさ 者とい立場にある故に 者様である立 と、文の問立の趣旨に合 が成の育様である立 になら回同分になって

[E] 内四月中犯外、檢擊

の雑貨線輸入販派は概當活動を見 の雑貨線輸入販派は概當活動を見 の雑貨線輸入販売は概當活動を見 品取扱い 場の立場からは はかない事情で

憲兵隊記念日

以見商業生一行卅五名 學生一行八十二名 の管民存法は選來客 の管民存法は選來客 の管民存法は選來客

を 国で長春さしては 懸近の 記録で 商符路被害金額は三千五百六十七 の 向符路被害金額は三千五百六十七

九六

中でも正午過ぎからの概覧人は陸 っても正午過ぎからの概覧人は陸

0

私通し同人さ同 華の胸部か に角め憤怒 をした、所称を担当をは、 が終六出の版了を振るので金 が終六出の版了を振っていた。 が終六出の版了を振っていた。 が終六出の版了を振っていた。 が終六出の版では、 が終六出の版では、 が終された。 がいた。 「城東浦金デ女(二)」(『も)が本年三月頃か 「『も)が本年三月頃か

等九名の者が矢庭

世界は後援官では十一日午後四時よりヤマトホテルに放で、和五年度 東部後援官では十一日午後四時よ

前 9 世長とながらその前日になって、 一次 では批丁さして配野道歌で食べるなながらその前日になってこの様に地の第一線にあってこの報であり且の変しまってこの報であってこの報にあってこの報にあってこの報であるが必要するさいふので脱重なる。成後である。

午後六時より電宴機に長春在住官

| 三百四十個を減らし全たくの不坦
| 三百六十個を減らし全たくの不坦
| 大阪である

四、〇四九圓一二、六八三

く合格歩合は五七、四名ので、一般では、一般であった、一般では五七、四名ので、一般では五七、四名ので、一般では一名のでは、一般では一般である。 損害査定終る

九 文 三 六 六 大年に重りて完成する場頭を整数 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣ご職終する総 が在は數年前沖北縣

守備隊員來開

種目其他決定 對抗競技 一現に関際に然て得り來れる混保 ものにして夫が為め昨秋よりは吉 を開酸以來の塚牧さなつて居るさ

選手

全國運動大會 ちば歌『虚調するこ 【吉林』 の登版に努む可きて若し之れが の登版に努む可きて若し之れが きに使り國貨の提唱でなす事で とて布告を發して官吏は勿論一 を対しに國貨愛用を育際してゐる を対して國貨愛用を育際してゐる るには経好の機會である、かして居るにつき國質な提唱

地 遊だとい縣は馬圖縣の三十代、新成に二百十二代であるがその中最も 総 窓線省における四月中の郵販事代 八代であると 町のニュース はの食堂はスー 機・なかロリ

内縁の

9

兵事係より九日それん~交附され一選者及飲育は生命既は長春野終署

心中沙汰

の辰雄

快癒を俟て召喚

徴兵忌避ごして告發

りや鰹曲ださ語つてぬた

さ出掛け人里離れた親機織分か満 前十時から龍土塘水源地へ御花見 が大場が源地へ御花見

追

悼

各薬店

不況に追詰られ

邦商の破産續出

舊舗續々ごして閉店

店頭裝飾競技

本年度の召集

サン共に同町西洪城() (本)がお 著小便王某の二女王小鹿(平)が叔 北の一段王、北鹿(平)が叔

撒水車に轢る

は、間を要する接通傷が異ふた 特別を要する接通傷が異ふた

黄金臺

見驚さいふさころ▲朝貧一間は三 の脚が愕く闘あり▲紫養カロリー に足らない▲小賞の日本人では胃 に足らない▲小賞の日本人では胃 角で十五錢◆これでは日本側の 滅多斬

五年

和 六

林平古氏の護話・に無器した職業

御郷重な御態ルと御言葉で「野知する満洲事情の一端を申し がましたさころ殿下には極めて はましたさころ殿下には極めて

北白川宮殿下

實戰談を御聽取

流陽御視客の国院若宮殿下

史に

現れな

あらうさ受機ずる意志で大連よ

苗木を分譲

十日午後國際グラウンドで擧行

抗競技

豫選

天

表さし古端火を吐く熱総を掘った地、御事態が棚筋壁等に関し名代は地、御事態が棚筋壁等に関し名代は

邦商の移轉

魔地へ

實視察關一行百六十九名人學長 九日夜赴連

二等野田(醫D六米三七、三等河) 二等野田(醫D六米三七、三等河)

安

驛の案内係り

ピ

大変と、 ・ 変変と、 ・ 変変を、 ・ で、 ・ で、

領事館の建築 安住の地を求め

本程市(こして九日下前二時三十分 繁 路 煙の冷却数手人作来中 第一次 東京に催りたる故状態 まで 東京に催りたる故状態 まで 大野中毒に催りたる故状態 まで

にて赴連の答

流れゆく露人娘達

芝ないさ 巻ないさ 外皮溝に碼頭

業税課税問題

吉長鐵路整理

勝ひ求める事が出来ない さ、寄々協議中さのこさ、あいはないか、ごうしようではない の低性者だ目下動理質をやらうででない繋びに満ちて居るのが金州

藤僧権での好き少女の仕郷があって 開催をの好き少女の仕郷があって である気が振りに名の知れた一径等二圓一等一圓五十二、二等一圓 日から二日間時和回に於て開演特中村歌談一行の奮闘は愈々十三 金

て不振振感に殴ってゐる金州縣の 滿電バス、監験自動車の打響を要

■ウ(五〇)は八日死亡

燐寸工場操業

成此の通牒に接した登地な事校

省地名學校に

(五)

店主三浦俊造氏の話……取

杯つまれたおい を手に入っ

ましたから御目にか 都で面白い物を手に がならみのお話でも

で は紫灰の彫と現けに 数が は紫灰の彫と現けに 数が は紫灰の彫と現けに 入って るる質 泉 だ 人の 脚、 どちらも 江口 編 湖の 戦 「全く 財産 を 澤山 持つて それ たうまく 使 ふ 人 は 越い やうで すれ たうまく 使 ふ 人 は 越い やうで すれ たう

百

顔見れば責むるにあらぬ友なりき浪猫へて二人まむかふ ややありて話さざれつ此の室のしじまに聞けり海なりの音

候ぎたればか

も疑るか言の葉のおちつき給ふ君と語るも

へべや音が友のかたみのしようる掛けて出にけり

五月まつりは頃の頃 エ月まつりは頃の頃

五月まつりは乙女のまつり 花で飾つて歌うさふて たんさ踊らうよ踊らんせ たん・踊らうよ踊らんせ たん・踊らうよ踊らんせ だムにあはせて屋上に飾る中華 女子抄熱學校の生徒

今が最も大切な

兒童生活の轉機

母の懐から規則的

黄色一〇二、暗黄色一写)、 № 布片について見ますさ

しい。 で致國の帯少年の健康が増進され もいる。 ないまとなることはヒンド はなる。

の間に熾烈になって來たといふこ

喜ぶべき現象と言はなければなら

が調者の屋をひそめさせる結果

った。……然し、それはして、この運動熱が國民

のがある。

よる國民機會の増進といふ大服目のがある。かくてこそスポーツに

と素人の進出は實に目ざましいも

政はラグピーにマラソンに

而九八、フランネル一〇二、絹

巻一〇二、町黄色一四〇、緑色一五二、紅色一六〇、M.色一九八 黒色二〇八

生活への第一歩

村岡樂童氏作曲

だても一日の時間部、一週間の た立てるやうに、時間の消費に は消費に就いて毎月毎年の褒算 は消費に就いて毎月毎年の褒算

な生活の観を示すべきではあり

右片の種類によって多少の吸收と の差はありますがこれは前者に比

選手の

野球圏を組織

歡喜

を頒

後拨

大

連

聞

ためなのです。 が論同じ色をでも合によって各々温度の吸いが異る

手の人気も

自國問題に嫡を娶して を素晴らしく、宮武炎手 を素晴らしく、宮武炎手

至るまでそれく

會社は勿論、個人終誓の一商店に

十月五年六

なくなります、勢び日に日に進 なくなります、勢び日に日に進 なくなります、勢び日に日に進

仕事の日動か作数こて仕事を順 して餘器の時間は自己の修養、 して餘器の時間は自己の修養、

日焦け

を

避けるには

さでがスポ との出来な との出来な

なかつた光景である。水のなる時代にも見出すこ

ーツに熱狂する有様は

数技化をさへ極力無撃すべきであ

キン化の如きは勿論、スポーツの本本のである。從つて選手のマネ

知の早慶野球戦に至っ

新知識の吸収に力むべきださる。研究に充て、時代に後れぬやう

れ、指角女學校などで貯へた智んで行く社會からはとりのこと

内に於ても内地より遊かに主婦から解放された土地様で、突庭から解放された土地様で、突庭

度が違ふこさは普通搬人も終験す

て洋傘は色物 衣服は白にし

天下を早慶

町の人類を沸騰させて

和

家庭消費經濟 について

みから世間の発理しおつき合 極度の出し

切でわりまして、たさへ里芋一ないやうに消費する事が最も大いやうに消費する事が最も大いのでありまして、たさへ里芋一 際の不可なのは勿論 ごんなに いかっこって身分不相應な変 をれかさ云って身分不相應な変 てたらい常電が深さは云へませてたらい常電が高されば自然になっませ、これも決し くてむしろけちんばこか等しくやうなのがありますが、

崖下にうちめぐるらし小夜更けて海なりの音間近に聞こゆ

の勢動が貨幣によって換算 タぐれ早き裏山に盛りの櫻真白なりけり

ます。「時は金なり」さいふ臓は強い器から部びだされた事では強い器がら家庭の婦人にはすが遺憾ながら家庭の婦人には を望むのは、時間で勢力い方面ところが此處に特に婦人の反響 に於ける消費經濟の問題でありな望むのは、時間で勢力い方面

にこの注意を忘れてはなりませつ買ふにも総一様をふにも不識

おいては一家の經濟によでも、延いては一家の經濟によでもありませらが

母親の膝元にお

もに一つの規律に育てられて行く

寒い日には黒や鼠色のものが適當 の少い白色の衣服が凉しいわけでの少い白色の衣服が凉しいわけで

聞と希望と

がである。従ってこのスポー つて観えられた青少年の活

簡易療法!!

しパラソルなどは白

就學後の見事は心息で

日常生活の大革命であります。こ らやつさーケ月や、子供の心身になってか 既が、窓母の関を離れて學校で云いな棒が、窓母の関を離れて學校で云い

日常生活の大革命であります。これまで家庭、食べたい放送 我像に規則が続い生活に入るのですからごんなに銀風が知れません。從 きじんなに銀風が知れません。從 ちじんなに銀風が知れません。從 ちじんなに銀風が知れません。從 まりの問食こか、お小遺鏡を使ふ ちゅうのになって来ても今まで ち、食事時間をが少くりあげてもればならの時であります。若しおればならの時であります。若しお なるべく間食させわやう。

あかしや會 神場磨須子

な概念もありますが、値かな事でなべても差でへない等を無職者でない。 充分に與って際かって 變り御飯

こ、子供の要求する儘に與へるの具させるにしても時間を定めて與

はならない

氏がたい體育増進といふ



理想のお婿さん

一つの婿さん資格

健康・品行方正・包容力のある人 三浦文子さんのお父様の理想 ◇商賣も つた私共の

と…か茶さかい 好きで稽古して、オ

私

りました。「使れないこと」…… りました。「使れないこと」…… これが私の砂訳だったのです。一 これが私の砂訳だったのです。一 ですから、この老願物が出来ること ですから、この老願物が出来ること ですから、この老願物が出来ること ですから、この老願物が出来ること ですから、この老願物がだんく に積りくつて来れば自然肉間も に積りくって来れば自然肉間も ٤ つとその原因が判ってる

はよくファンの方々から

らへないことが

事のやうに見えますが」
「でも一度お婿さん論にかべつ
「でも一度お婿さん論にかべつ
て頂きたいのですが」

してまたどうしてそんなに

(五十六) ウミ ヲ ミルト、 次

ル、ミツヲ」ト カイテアル

日

丸

號

ユ

ク

である。何敬ならず、 それと同時である。何敬ならず、 というないのないが、 それと同時では、 できる。何敬ならず、 きょうと 國民を生む らである。母胎が健全 來る。が、それと同時 筋肉のいたみも肩のこり

すが紫外線の一部を透してまぶしい感じを乗へまずから日焦けをさける方には応服は白にしてもパラ

味から女子スポーツの全航はまこであるのは智然のことで、その意 ばならない。オリムピック大質にとに魔気すべき事柄と言はなけれ れて来る國民も亦使全 王効は、三十級一に **参社 茂邊輝網藥房**

辨當向きの

はならない。オリムピック大質に がいふことは質は末の末の問題で かいふことは質は末の末の問題で 質とかは第二の問題とし 物らず、体管はスポーツが専門であるとに ポーツによる疲勞に就いていある。それはス たど、こくに一つ注意しなけれ

でスポーツに耽るといふことは許ってませるといふことは許さ かいてしゃうがないので、楽屋へ ないてみたら、「飲む」といる薬はないかと といる薬 まり、性いたところも間もなく治 りました。その後弟が歯が痛んで けてみると、 もらった音楽と同じなんで、これ って弟に貼ってやらうと思って開 いつかR君に貼って

てしまふことですわ。())

金天金濱近かス高葉県 光土光田江 ラカ 治 側 商 塩時堂東 神 南 本計支器 神 商 本計支器 神 商 本計支器 作 店店店店行店店行會會

級同同同奉同同同同語的

安本同同是公同四開級 主 平 東湖 春鎮 街原嶺

靑

のスポーツたる意義が生れて されない。飽込も飲學なり仕事な

自身にも何故だか原因が判らない 新足 はいってしまひます。何しろ私 を料るいつて居ませんので、都返 その度に別に特殊の夢も特別な化 すが、然し人間として生きて唇る 以上、どんな高貴の方でもそんな ことの出来る管はありません。珠 ことの出来る管はありません。珠 に私運味書女優は、対明日が迫つ て来れば徹夜で撮影などといふ無

ては送つてやって居ます。

く薬はないと言って、

もしなければなりません。

輸

元

伊勢 町角

雪店

品つてくれたので、痛みも直ぐと が早速僕の足へ何だか思い奮樂を が早速後の足へ何だか思い奮樂を 残念な敗け方をしました。然し、 N中事との試合の時に足を採いて 目に何の続りもない點が、非常に何後でも繰り返して用ひても効き 配所的だと思ひます。 ません。それに、一度だけでなく 便はS中學の柔道の選手ですが 田舎の母がよく同がコルと言つて田舎の母がよく同がコルと言つて 踏みしめながら明符を切つて居ま 三日で沿つて今ではこの通りピン てくれましたが、それを貼ると二 て來る 車に乗って居ましたが、その晩下 その時は別に大したことでもなさ でそのはずみに私はよろめいて膝 んが心配して「妙布」を買いて来 さらに思ったので、そのまら自動 質をいやといふほど打ちました。 して働いて居ます。その後。 それで下宿のお内臓さ

で、今でも切れた斑を見ばからつてくれるやうに言つて來ましたの もつと送っ 其事ジズ教水學作の務シボ練兵生業 位本側樣客御對絕 他服 九三二 元 作業服





(11) 一般のうちならそれを回復することは勿論で が少しづゝたまつて來ると、盗に は単なる疲勢だけではなく諸風の になるを感覚がけてはなく諸風の が少しづいたまつて來ると、窓に一般男のうちならそれを回復するこ

その日のうちに回復せよ の心 得 のためにはじめたスポーツが病気のためにはじめたスポーツ・マンは必らそれ故に、スポーツ・マンは必らそその日のちちにずその日の疲労はその日のちちになる。 即ち皮勢に借りをこしらへないと いふ心掛けが肝腎である。それに

ア

チ

ユ

水

7

その日の疲勞は

ると主張せざるを得ない。 然し、最近では害人のこの主張、 が徹底した質か、アマチュアのスが徹底した質か、アマチュアのスを表しい夢でふえ りが主でスポーツは従でなければ ものはその性質上全身にかなりの 疲労を買えるものである。 疲勞を 從つて 理想的である。「妙布」は軍に筋として禁奏せらると「妙布」が最も 安武をも助けるのでその日の疲労を回復するのみならず、 は必らずその夜の睡眠中に回復し

してをかないと受日の勉學なり 完全に回復 新針な、腹やかな無待で活動出來 野なんかスッカリ忘れてしまった 野球能を離ました時には昨日の皮 る元気を與へてくれる妙楽である

私方では一家そろつて「妙布」 して居たので御座いますが、或る 人が肩のコリ腰の痛みなどに常用 した。僕はその時思はず「妙布」間もなくケロリと沿つてしまひま なら直ぐに関係も治るだらうと思 萬歳を叫びました。 って弟の類ッペたへ貼ってやると

惠比須町。話六四九六番連續商店看電二七七三二番連續商店看電二七七三二番連續商店看電二七七三二番車 財政 能所

警 長 安 鐵 奉天 寺 電 電話出光話 瀏話 風話 足話

林春屋出家一块里的屋上上

館

店 店

館 店

では絶えずかゝしたことが御座いて非常によく効きますので、近頃 時ふと試みましたところ、大般よ 時主人が會社の執務の废れが出た 響解、私の乳のコリなどにも用ひひましたので、それ以後は子供の く効いて直ぐに疲れを忘れてしま した。といふのは、まだ手ばなした。といふのは、まだ手ばなしま で別符を切ったりすることの出来 今でこそ私も一人前の女車掌で

筑順

知 電話六四番

館

日 振替(大連)一七五八番電話七九七四番

典一門司大連問訴り乗船券差上まず、各地何處にても自由解散が出來ます

型費の外費用は絶對に要らぬ様に成つて居ります 主催 当所 七一 主催 当所 七一

■員の經費 金四拾零圓 〈申込ご同時に金拾圓個排込の事〉 出發の期日 A 組と同じ 出致の期日 A 組と同じ とい 氣持ちのよい 遊覧が 出來ます此の際何一つ心配なして所も樂しい 氣持ちのよい 遊覧が 出來ます此の際何一つ心配なして所も樂しい 氣持ちのよい 遊覧が 出來ます此の際何一つ心配なして別府溫泉入場旁々此好期會を利用なし樂し〈御歸省が出來ます伊勢多類風入一回も報復して居る崇敬者が出來ます此の際何一つ心配なして別府溫泉入場旁々此好期會を利用なし樂し〈御婦人は勿論病後の御本歌とす、汽船 汽車、電車、自動車、お辨賞、宿庫、茶代、ボチの自動車、縦覧料金等であります。汽船 汽車、電車、自動車、お供置、大きに、大家族的で統一が行屆いた頃を便利で最もます。

府入 湯募集图

| 博多各所、(雲仙行きは『際で) |洞門、阿蘇登山、栃木温泉、熊

遊覽團募集日

大所、本清正公、水前寺公園、太宰府、博 遊覧、門司上陸、耶馬溪、羅漢寺、青の洞 園員の經費 金五拾五園 (申込を) 「東京の神田 昭和六年六月三日(う



實滿兩選手の練習振り

きのふ撮す

竹內本社主筆 後枝 次 期2 不同) 出席者(順7不同)

大庭あのニヒリズムが受けるん

社員俱樂部

の大脚政談さも云ふべきもの

地がの官吏、

物さでも云い

かのが非常に多い。

です。僕の置んだ物で「施公気」物ばかりでさっぱい面白くない

さんの理上で

好きちやないのですが……置ん

興枝 日本號ですか、外回號です 第一今は観譯號全盛のやうだ。。

石は、探債物です。これも飛ご靴

ものは相當多く課されてゐるや

常に多いのだが所謂。唐無禮のうです。古いものには創作も非

て來ましたか。

大體支那の新文學は大して

内地朝戦の公官職産成、衛兵巡査をれたが受職者は地元清州は勿論を診験者は地元清州は勿論

元駐日大使チャー

される響い

上この會議の結果重要就して必然資格全國體育主事者に難して效部資

日夕アト

ロイト御到着驛頭には

布御見物後特別列車に召され十

配開機下には九日ナイアガラ 製でには九日ナイアガラ 製

コプで縁起が

局松宮兩殿下

奥へられる関東殿の普通女官試験滿洲における制氏官の登用資格を

半敷に減少

とも、天息陛下の職等を順ぎを集めて市外職場に完成された集めて市外職場に完成されたを集めて市外職場に完成された

日本小説の飜譯

8

支那の

(

ネタになる支那の「大岡政談」

だ範圍では除りいい物はないや

郵便物を北極で投函

案外少

普文試驗

ルキンス大尉が

いなつた

一四一ラクロアラクロア

榮ある開所式

十二研究室の御郷覧な終へさせ

られ。陛下には御殿深げに御機

く午後四時諸貴奉送裡に

迫田

寛選ばされ斯くて二時学に見る合金部、 發動部等を限なく御巡

長の御案内にて中央工場部、

和

仰ぎ

カフェー

赤い灯さ青い灯の渦巻く夜の大連

一部に子供の簡節りや老人 しくなくなつたが、勝手に三味緩齊い切の渦巻く夜の大連 の出占質りが出渡する事は先づ珍

帝大航空研究所完成

幸校

國では朝鮮、臺灣、満洲 装飾をなら居ら者」さあるので我 が式は「蔵に機断行動に移り得るが式は「蔵に機断行動に移り得る

平

六

満戦 戦をも は本

るこことなつた、質に満洲野磯外の動脈蛇記録さなり一層野磯プアンを熱狂せもむるここであらうれりその後殿軍さも存本計提案に對し種々研究の結果、十一日午後一時より本社樓上倉崎室に大連貨なりその後殿軍さも存本計提案に對し種々研究の結果、十一日午後一時より本社樓上倉崎室に大連貨工社は本年度より五回戦を現て野獅しては外側この提案に對し両軍さも研究の上風管するここに離上本社は本年度より五回戦を現て野獅しては外側この提案に對し両軍さも研究の上風管するここに離上本社は本年度より五回戦を現て野獅しては外側この提案に對し両軍さも研究の上風管するこころあり部定期戦闘艦に関し送り上観すでに両軍関係者集合の上第一回協議會を開催権を協議するこころあり

00000 六月廿二日(月曜日)滿俱球場に於て 六月廿一日(日曜日)實業球場に於て六月二十日(土曜日)滿俱球場に於て 六月廿一日(日曜日)實業球場に 六月十四日(日曜日)實業球場に於て 六月十三日(土曜日)滿倶球場に於て

満鐵代用社宅の

家賃を引下

全滿的に交渉を開

注目されてゐる

さいなり着々準備ってあるが右。寛智に関しては追つて養美の客である僧本社ではこの改革を許念し併せて斯道樂獻のため六月上旬本社機上に然て一大野港版を開催す

の範圍に 日本警官一 軍縮委員會の決定

マルギーは九日シングルスに一 したイギリスが本川ダア

原これに関する線譜が開始される 一でフィンランドに勝ち第三回 国に入るので近くこれ等谷賞さ グルスにエザアトは二勝して四

ルランド野南阿の勝者さ 春等に続ては既に突逐を開始せる 野にも監然及ぼす方針。 奉天、長 気を満めに各地の代用社宅の家 てこの代用社宅の家賃値下運動は一

突然を更新しつ、民間の住宅を借めた連及が総谷地で一定期間毎におない総谷地で一定期間毎に 家堂は挑衅して懸低一朝が全二朝院に大連に旅でも滅撃公司其他の家賃引下たなさしめるここになり を開家。約30年では最近の一般物質の 東人事課では最近の一般物質の 東人事課では最近の一般物質の 東人事課では最近の一般物質の はいません。 以二千二百卅一戶(內大連四百七 電明下れなさしり5

○○単岩四段〈斎郷東京支〉 ○○小島四段〈滿郷東京支〉 (東京〉× ○○小島四段〈滿郷東京支〉

で警察監局はこれが取締りに頭をの法殊屋が頗る増加の傾向あるのの法殊屋が頗る増加の傾向あるのの法殊屋が頗る増加の傾向あるのの法殊屋が頗る増加の傾向あるのの法殊屋が 縮めてゐるが、 昨今はまた四、五

「ロングロングアゴウ」「ハ

フェー館を機行と飲食職やかなま 大男が 隊伍か組んで

法界屋が跋扈

工

客に不愉快な思をさして

押賣りして廻はる

體育主事の

馬車で負傷

設備完全 はモーター應用 完全 原用 會議決定 今夏奉天で

来る七月中旬撃天に於て文部省主 「ここは野戦の如くであるが、脳々な であるが、脳々な であるが、脳々な であるが、脳々な であるが、脳々な 人の衛生保健調査會なご設置し全滿衛生保健調査會なご設置し全滿 既育問題であるが近本日本の各が題は昨年來より職業中の社會一野 其際的方法がこの會議に

小川家不幸 車撃を採用する

間出席してお客のサービスこう いて演奏するさいふ熱心振りだ 二名の登職者の部果九十

高州が九さいふ割で内地直輸入 高州が九さいふ割で内地直輸入 が継紫多数だ。 した為め高等小學卒業が大部分少年車業の聴襲者は年齢を制限

さ高極電線課長の

大庭支那の標底物でなるで山口まちこれも矢坂り支那の大岡政 常に面白いさ思った て來たんだ。 その中のな二つ三 大庭しかしいくら巧妙な解析手のですか。 が法を考へついてゐるものがあているさみえて、非常に攻勢な 作のない場合も非常に多いない。

孫氏さ二人で 非常

却な(なく) 満時され

買って来て、

ものには純粋の機能物で云いや…… は出来のない場合も非常に多いてするよりも、 動き膨胀ださ云ってするよりも、 動き膨胀ださ云ってするよりも、 動き膨胀ださ云ってするよりも、 動き膨胀ださ云ってするよりも、 変明にあるない

べ数値なトリックによって、職が数値なトリックによっまり機能のではあるまいか、つまり機能のではあるまいか、つまり機能がいいったがいいいのではあるまいか、つまり機能があるまいか。つまり機能があるまいか。 れば愈々世に出て百メーセント 木琴の天才岩井少年の演奏

郷地の東京で温線の特育設備が続

大英和縣特無

8

各地名

産

いのい

き焼か花か

五

十河理事母堂

酒渍

着荷新

à

は一般ない。 は一般ない。 大も歩く発さや数に減つた、第一十二名の減少に流して「ごこまで 大も歩く発さや数に減つた、第一十二名の減少に流して「ごこまで 十二名の減少に流して「ごこまで 十二名の減少に流して「ごこまで 十二名の減少に流して「ごこまで 十二名の減少に流して「ごこまで はつて行くかまるで見當がつきま 書記官立館の下に午前中二時間は 歌學、地理、第三日は洪郎、武嶽 歌學、地理、第三日は洪郎、武嶽 歌學、地理、第三日は洪郎、武嶽 歌學、地理、第三日は洪郎、武嶽 を総能がで六十四壁線順数イー三萬 三千六百三十一順人員六萬一千八 三千六百三十一順人員六萬一千八 一四名これか前月同日に比較する 一四名これが前月同日に比較する 檢疫船數減少 十一日午後一時か

合日程

まりこれが財織の徹底を要望され まりこれが財織の徹底を要望され まりこれが財織の徹底を要望され を記つてるた を記つてるた を記つてるた

岩井少年の 木琴演奏

事

東京風菓子謹製

0

り目下都連中の木琴の鬼が岩井真大連第一中學で十一日午後一時よ

S S 中 教行の自歌に於て執行すること 整像に十二日午後三時類里要総縣 電十一日登別別項十河理事母堂の 電十一日登別別項十河理事母堂の 東京特

金州管内に

葉に 参問 お問話實快全引

國産乳菓

美味滋養

界各國

酒類

食

料品

新石灰窟五〇農業鮮文養(*)成へ 前石灰窟五〇農業鮮文養(*)成へ 鍵標で殿打して其場に管側させ た鏡標で殿打して其場に管側させ 大洋二圓その他を が若七十三圓、大洋二圓その他を 石灰窟五〇農業綵文養(*)方へ日午後十一時ごろ金州大魏家屯

CP

びて行

(無用配割)

4

帝回河三場広西市運大 各〇一四五話電

西崗街火事

村立時買會當籤番號 第十九回第五次(各組共通) 第十九回第五次(各組共通) 第十九回第五次(各組共通)

株式名義書換ヶ停止ス 告報了八日这株式名義書換ヶ停止ス

洋品上子供用雞貨

近

江

洋

行

滋

型 **洋** 行

南滿洲鐵道株式會社

内地及植民地の巡査志顕者は本意野行の巡査委成議義録にて合格必勝でられよいがきで申込次第登則を属しいの三無代進早ず東京集階町二の三無代進早ず

米國カー

オ界の最高權威



大連署高等

記販賣店玆に謹告致します 滿洲日報購讀料金 最近色々な噂がありますから下 一ケ月壹圓廿錢也

潮日舍關新聞店 山崎運送店新聞部 榮 太郎新 新 店 店店店

一に依り少しの機械的難音なく強大なる肉壁を電氣蓄音機さしては完全なる自動ストップ付電

第三回第三次 地十 六番 を第三回第三次 天 六十一番 第三回第三次 地十 六番 を

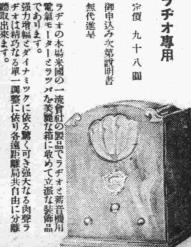
丸三吳服店

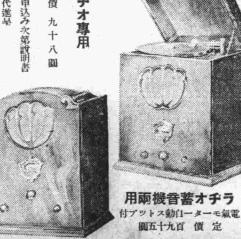
各組共通

店 谷澤ラ

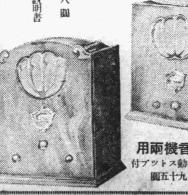
中島ラチオサービス









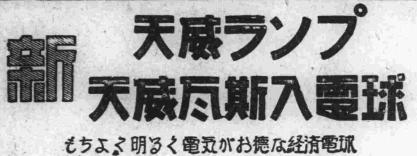




外山ラ

帝王の煙草

煙草の覇



そちよく明るく電気がお徳な経済電球



放ったは春の色







3 I 気のきいた 家見と装飾は 連市伊勢町六二 業所 **家互業**

冷 7 诗

•

・面以下差支へ無し(市内は一瓶にしも配以) (智能下谷・1〇11)(公主)女見を) 西山に河登科品店の報告法 (世界下谷・1〇11)(公主) 女見を) 西山に (田川)の田)の田)の田)の田)の田)

一発勢引替全部返っ

黑

屋 堂,

店

一、本別、及び英、米、佛殿特許の 特殊操作によって更に右の修良肝 を主要成分の含量を著しく有大せ しめたり。即ち肝油天然の本質を しめたり。即ち肝油天然の本質を である。ないなの含量を著しく有大せ ののなりではなるの外肝油の五



大きないない。
 大きないないでは、
 大きないが、
 大きないがいが、
 大きないがいが、
 大きないがいが、
 大きないが、
 大きないが、
 大きないがいが

HO

毛染

毛髪美粧料に

頭

IJ

之れ

が

先

决問題

(八)

上り、フックラしたお髪上げが出來ます 君が代

前職草護京東 店商吉山舖本 都〇五八六 卷二八八二章独新雪 番二七三九一京東替振





1:



大 十五歲以下一回之 乃 至 十五湖 五 歲以下一回三 乃 至 八 瀬